

わが町の消防団 南房総市消防団

平成の市町村合併に伴い南房総市消防団が発足し、早いもので5年が経過しました。南房総市消防団は、「自分たちのまちは、自分たちが守り続ける」という使命達成のため、自発的参加と厳格な指揮命令のもとで活動します。南房総市消防団は、支団制で現在30分団、団員定数1,052名を擁し、各分団に消防ポンプ自動車を配置、常備消防と協力し災害活動にあたっています。また、地域の防火・防災リーダーとして、地域住民との連携を強め、地域に密着した防災体制づくりを推進しています。

消防団の活動は4月が年度の開始となります。そこから翌年の3月末日までの一年間が一つのサイクルとなる訳です。年度の最初の任務として、各分団の分団長は辞令の交付式に臨みます。ここで消防団長より辞令の交付を受けて、正式な消防団員としての活動が認められるのです

11月中の『火災予防週間』中には、火災予防の啓発はもちろんのこと、火事のシーズンに備え、この時期に訓練やポンプ車の機械や操作の講習会も行われます。年末は、歳末特別警戒を実施し、年が明けて最初に行うのが出初め式です。起源をたどれば江戸時代までさかのぼる由緒ある行事で、一年の火災ゼロを祈願します。もっとも、火事は1年24時間起こり得るものだけに、団員になると頭の中には常にそのことが意識されます。

消防団の果たす役割について「地域に青年団的な組織がない現状では、消防団が若い人と地域を結ぶ機能を果たしている」と言います。若い人が消防団を通じて地域にとけこみ、そこから自治会の育成会等の分担を受け持つようになります。また、その過程のなかで年代の違う縦のつながりや、同級生同士の横のつながりを深めていくそうです。「消防は先輩・後輩の縦系と同級生の横系を織りなす織機」です。消防団といえば火事と連想しがちですが、その活動が人間関係の形成を含む幅広い役割をもっていることにも注目していきたいです。



出初式での操法演技